百太郎＆幸野溝コース

①鮎の瀬井手跡→②百太郎溝取入口旧樋門(百太郎公園)→③慈願寺(百太郎の碑)→④太田家住宅→⑤多良木菅原神社→⑥福田寺(高橋政重の墓)→⑦妙見野自然の森展望公園

① 鮎の瀬井手跡

溝は鎌倉時代に多良木相良三代頼宗によって掘られた灌漑用水路と伝わっています。ここから200mほど下った蓮花寺橋の下手が溝の口の渡船場があった所です。傍に「東の前」と呼ばれる「伝相良頼景館跡」や蓮花寺跡があります。鮎の瀬井手は、球磨川の北側を３kmにわたって流れ、今も多くの水田を潤しています。

② 百太郎溝取入口旧樋門（百太郎公園）

昭和35年に、改修工事の為取り除かれた百太郎溝取入口樋門を、水戸神社境内に移し復元したものです。凝灰岩で作られ高さ5.8m全長9.5mに及ぶ遺構は、水利事業に関わる文化遺産として貴重なものです。百太郎人柱伝説が伝わります。

③ 慈願寺（百太郎の碑）

碑は、高さ2.68mで境内に建てられています。西面に「南部利水に基く百太郎溝大改修に際しその樋門の一部を移し開削当時人柱となりたる百太郎の供養と五穀豊穣の願をこめて建立す　昭和三十五年四月二十八日　百太郎奉賛会」と刻まれています。先人の遺徳を後世にとの願いで移転されたもので、慈願寺には百太郎の位牌が安置されています。

④ 太田家住宅

太田家はかつて相良家家臣として人吉に住んでいましたが、後に多良木に移り農業と酒造業を営んだと伝わります。江戸時代末期建築の住宅は人吉球磨を代表する鈎屋様式の茅葺住宅として国指定重要文化財に指定されています。

⑤ 多良木菅原神社

中原天神社は湯前境に在り境内の東側を幸野溝が流れています。江戸時代宝暦２年（1752）、相良藩士高橋政重が、灌漑用水幸野溝を完成させ、新田集落東方村が成立しました。その中心地に天神社・稲荷社・福田寺がおかれました。

⑥ 福田寺（高橋政重の墓）

境内には高橋政重の没後新田村の人々が、徳を慕って建立した墓碑があります。正面に「巨巌玄霊居士」右脇に「新田開基高橋氏七郎兵衛政重」左脇に「享保十一丙午六月廿五日東方名造立焉」と刻まれています。

⑦ 妙見野自然の森展望公園

人吉球磨一体を見渡せる標高500mに展望公園があり、晴天の早朝には雲海を見ることができます。周辺に自生するウワミズ桜をモチーフに「永遠に幸せでありますように」と刻まれた「結の鐘」を鳴らすこともできます。

久米・奥野コース
―ご利益めぐり―

①久米熊野座神社(久米城跡)→②吉祥院勘代寺→③中山観音堂→④白木妙見神社→⑤城山薬師堂・高塚神社→⑥七代の庚申塔
◎槻木地区のパワースポット：『千年の目覚め平成悠久石』

① 久米熊野座神社（久米城跡）

今山権現とも言われ、久米城址の麓にあります。熊野神社と同禮で草創年紀は不明です。城跡は、戦国時代に相良氏が久米支配のために置いた支城の一つです。
「五穀豊穣」のご利益があります。

② 吉祥院勘代寺

境内の八体仏は人の一生を守り続けてくれる仏様で「一代守り本尊」といわれ、生まれ年によって守り本尊が定められています。守護本尊の前でお参りすると御利益があると言われています。
本堂前の子安観音は安産、子どもの成長を守護する観音様です。

③ 中山観音堂

慈悲の心であらゆる人々の苦しみを救うといわれる聖観音菩薩。鐘の尾《鐘を鳴らす紐さらし》を腹帯として妊婦が巻くと安産だと言われています。

④ 白木妙見神社　オガタマの木

災いを鎮め、幸運を祈る対象である妙見信仰《北極星・北斗七星に対する信仰》によるもので、五穀豊穣・子孫繁栄を祈願します。

⑤ 城山薬師堂

本尊は左手に薬壷を持ち、日光・月光菩薩を伴い、武装した十二神将が拝むものを守護します。人々の病気を治し、衣食住を満たし、悩みを解決する、地獄へ落ちないように導くとされる仏様です。

高塚神社

高塚さんと呼ばれる「頭の神様」で頭痛にきくと伝わります。現在は認知症予防や、勉強が良くできるように等のお参りがあるようです。祈願の際には「日天月天　きゅうさい坊・きゅうれん坊」と唱えると願いが叶うと伝わります。

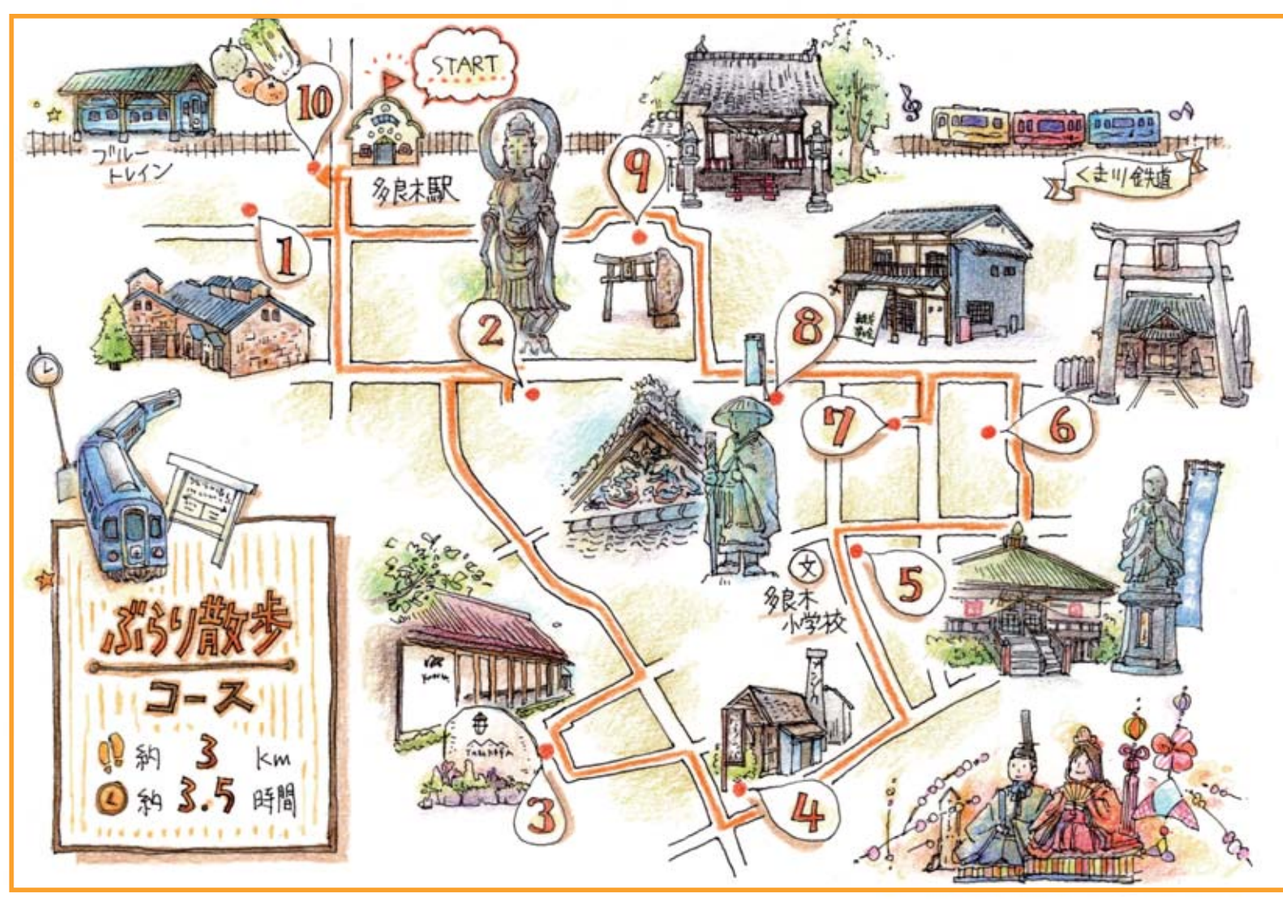
⑥ 七代の庚申塔

庚申塔は村境や三叉路に造立され、悪疫等の侵入を防ぐと信じられてきました。七代の庚申塔には「蠱」の文字が刻んであり災厄消除の願いを込めたものと思われます。《蠱の意味は、鬼が死んでからなるもの。この鬼とは人が死んだ後になる幽霊や亡者の事を指す。俗に一切の祟りを祓うとして、この字を書いて門上に貼る。》「疫病退散、延命招福」を祈願します。

お時間のある方は…

◎「千年の目覚め　平成悠久石」

槻木御大師堂の境内にある直径１４０㎝、重さ４トンもの巨大な丸い石です。「子宝に恵まれる」や勝負事（パチンコ等）の祈願で参拝されるようです。



ぶらり散歩コース

①交流館石倉→②永昌寺(北向延命地蔵)→③旧宗像家住宅『TARAKIYA』→④木下家住宅(木下醸造所)→⑤延寿寺→⑥金刀比羅神社→⑦光台寺→⑧旧白濱旅館(多良木町観光協会事務所)→⑨恵比須神社→⑩えびす物産館

① 交流館石倉

凝灰岩で建てられた石倉が多い球磨人吉ですが、中でも駅前の「旧多良木町農業会米倉庫」は昭和10年前後に３連棟で建設された珍しい石倉です。国有形登録文化財に登録され、交流イベントの拠点として利用されています。

② 永昌寺（北向延命地蔵）

京都妙心寺派臨済宗の寺院です。境内にある「北向延命地蔵尊坐像」は江戸時代文化六年（1809）の建立です。左手に宝珠、右手に錫杖を持つ半跏像で、高さ136 ㎝、重さ約450kgあります。台座に「万民和楽伸供養」等が彫られています。（九州相良八十八ヶ所霊場 37 番札所）

③ 旧宗像家住宅(TARAKIYA)

多良木町の俳人、故・宗像景俊(雅号・夕野火)氏が住んだ建物を古民家のホテルとレストランに改修し「TARAKIYA」（多良木と空き家の造語）と名称を付けた複合施設です。

④ 木下家住宅（木下醸造所）

江戸時代から続く焼酎醸造所です。中原地区の太田家住宅（国指定重要文化財）と同じく寄棟造の茅葺屋根をＺ型に架ける形式の「鈎屋造り」の建物です。

＊文蔵（ぶんぞう）じーさんの墓

「球磨の六調子」に分限者(富豪)として登場する新橋文蔵の墓です。現在屋号は「木下醸造所」と替わりましたが「文蔵」というブランド名で残っています。墓石は娘の木下花代氏が91歳で亡くなった父の為に、大正７年(７回忌)に建立しました。

⑤ 延寿寺

和歌山市日蓮宗正応寺末の寺です。境内の火伏地蔵尊は、相良城下で文久２年（1862）に起きた「寅助火事」と呼ばれる大火災の時、この地蔵の前で火が止まったと伝わり、その後、延寿寺に寄進されました。

⑥ 金刀比羅神社

創立・沿革は不詳ですが、明治初期に恵比須神社と金刀比羅神社をこの地に勧請・鎮座し、その後、明治36年に恵比須神社が役場前に遷座しました。金刀比羅神社の宗社は香川県琴平町で、航海の守護神として崇敬されています。

⑦ 光台寺

明治になり、人吉藩が真宗解禁をした後に開設された浄土真宗西本願寺派の寺院です。大正８年、歌人で仏教婦人会総裁の九条武子が巡教活動の一環として来訪し、光台寺の仏教婦人会の活動を支援しました。この来訪は後の女学校設立の機運を高めるきっかけになったと考えられます。

⑧ 旧白濱旅館（多良木町観光協会事務所）

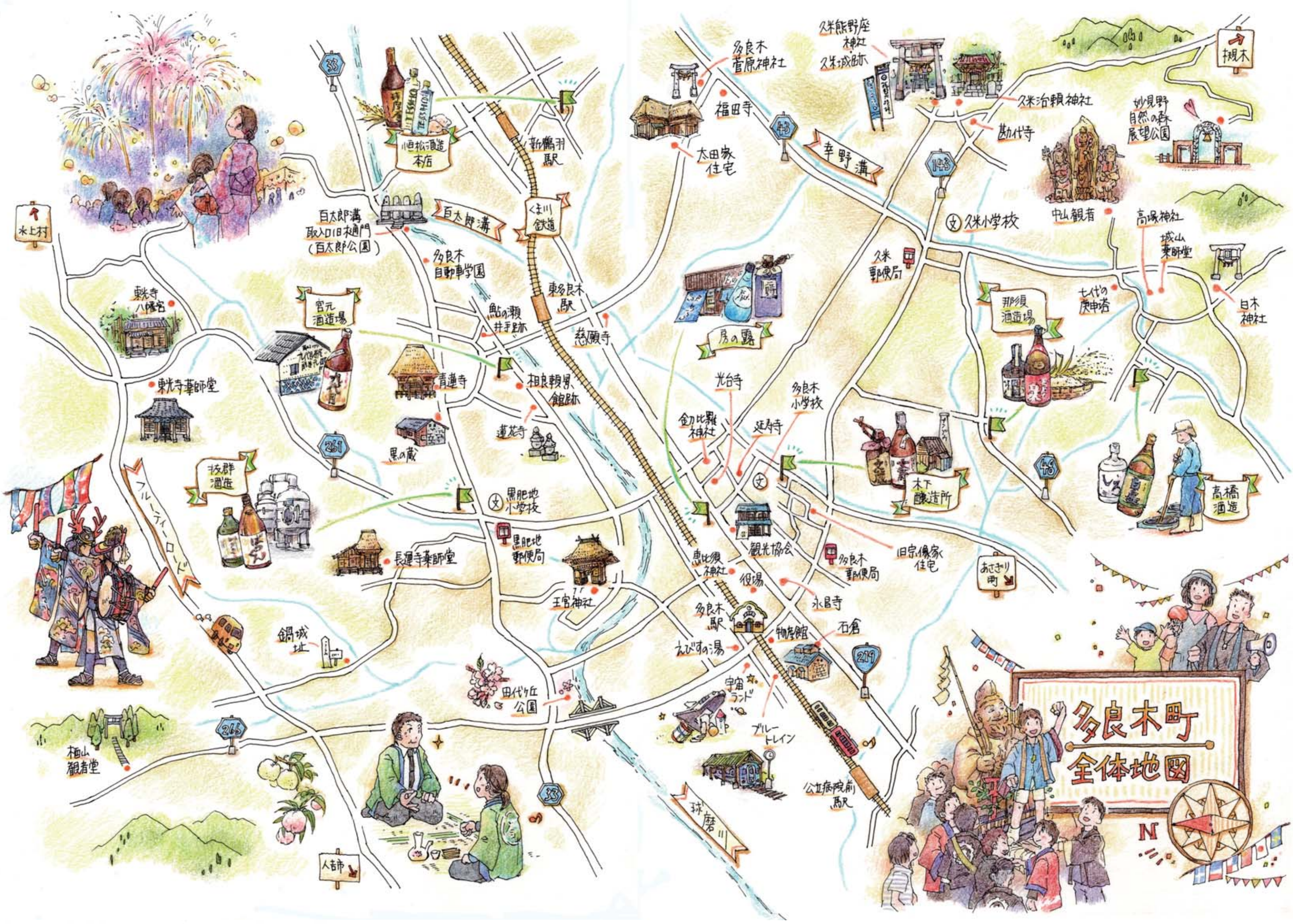
五間道路に面し、明治41年以前建築の明治棟と、大正時代の歌人・九条武子が宿泊する為に増築された大正棟からなる、格式高い造りの建物を改修しています。館内は交流スペース・宿泊施設として利用できます。

⑨ 多良木恵比須神社

商家の福の神として祀られる恵比須神社は、明治36年に金比羅神社脇地から遷座されました。秋季大祭には、イベントや、出店が軒を連ね、他町村からの参拝者も多く、球磨屈指の賑わいを呈します。境内に八坂神社も鎮座します。

⑩ えびす物産館

館内にはとれたての野菜や果物、農林水産加工品、木工芸品、ジビエなどの特産品が並んでいます。地元の食材を使った総菜や和菓子など、手作りの商品も人気です。



日本遺産コース

①王宮神社→②栖山観音堂→③青蓮寺阿弥陀堂→④百太郎溝取入口旧樋門（百太郎公園）→⑤太田家住宅→⑥久米治頼神社→⑦中山観音堂

① 王宮神社

黒肥地神宮とも称され、創建は大同２年(807)と伝わります。また、相良氏が代々保護をしてきた氏神です。境内の楼門は県指定重要文化財で国内最古の茅葺楼門です。両脇には江戸時代のユニークなお顔の仁王像が置かれています。

② 栖山観音堂

相良三十三観音巡礼23番札所で、長い石段を登った森の中に御堂があります。本尊の千手観音菩薩像は平安後期に作られた球磨郡内最大の観音像です。本尊横に四天王の内３躯が安置され、共に県指定重要文化財です。

③ 青蓮寺阿弥陀堂

多良木相良氏初代・相良頼景（よりかげ）供養の為に鎌倉時代創建された、県内最大で茅葺屋根の阿弥陀堂です。創建には飛騨の工匠が造作したと伝えられています。お堂には創建と同時に、京都の院派仏師法印院玄作の阿弥陀三尊像が安置されていて阿弥陀堂と共に国指定重要文化財です。

④ 百太郎溝取入口旧樋門（百太郎公園）

昭和35年に、改修工事の為取り除かれた百太郎溝取入口樋門を、水戸神社境内に移し復元したものです。凝灰岩で作られ高さ5.8m全長9.5mに及ぶ遺構は、水利事業に関わる文化遺産として貴重なものです。百太郎人柱伝説が伝わります。

⑤ 太田家住宅

太田家はかつて相良家家臣として人吉に住んでいましたが、後に多良木に移り農業と酒造業を営んだと伝わります。江戸時代末期建築の住宅は人吉球磨を代表する鈎屋（かぎや）様式の茅葺住宅として国指定重要文化財に指定されています。

⑥ 久米治頼（はるより）神社

勘代寺の東側にあるこの神社は、永禄９年に相良治頼の霊社として建立されました。社殿の中には天正７年（1579）の男女神座像が祀られています。相良治頼は天文15年(1546)謀反の疑いをかけられ豊後佐賀関で病死しています。

⑦ 中山観音堂

相良33観音巡礼28番札所です。堂内の壇上に、聖観音菩薩及び四天王４躯が安置され県指定重要文化財です。聖観音は平安前期の制作で当地方最古の仏像です。境内に、巡礼の御詠歌（ごえいか）を残した、井口石見美辰（いのくちいわみよしたつ）の逆修碑（ぎゃくしゅうひ）があります。

上相良氏コース

①田代ヶ丘公園→②王宮神社→③長運寺薬師堂→④鍋城址→⑤東光寺薬師堂→⑥東光寺八幡宮→⑦青蓮寺阿弥陀堂→⑧古代の風・黒の蔵（埋蔵文化財等センター）→⑨蓮花寺跡

① 田代ヶ丘公園（里の城公園）

里の城公園ともいわれ、中世の山城の跡です。球磨川沿いの高台にあり、多良木の町筋や盆地の中央部が一望でき、桜やツツジの季節は花見客で賑わいます。

② 王宮神社

黒肥地神宮とも称され、創建は大同２年(807)と伝わります。また、相良氏が代々保護をしてきた氏神です。境内の楼門は県指定重要文化財で国内最古の茅葺楼門です。両脇には江戸時代のユニークなお顔の仁王像が置かれています。

③ 長運寺薬師堂

長運寺は元々鍋城にあった寺院です。火災のため南北朝時代に現在地に再建されました。堂内に室町時代の薬師如来坐像が厨子の中に安置されていて、薬師如来・厨子共に県指定重要文化財に指定されています。

④ 鍋城址

城址は丸山地区にあり、本丸、二の丸の跡が残ります。頂上からは上球磨一帯の眺望が利きます。この山城は、熊本県下で最も広大な中世古城址です。

⑤ 東光寺薬師堂

黒肥地愛宕山（あたごやま）東光寺の草創は鎌倉時代に相良氏が再興したと伝わります。薬師堂には、木造薬師如来坐像及び脇侍日光・月光菩薩、十二神将などが安置されています。東光寺の寺域には岩壁に彫られた**磨崖梵字（磨崖板碑）**を見ることができます。又近くから、文永10年(1273)に相良一族が「現生安穏後生善所（げんせあんのんごしょうぜんしょ）」を祈願して埋経した経筒８個も出土しています。

⑥ 東光寺八幡宮

宇佐八幡宮同禮の東光寺八幡宮は、草創年代は明らかではありませんが、鎌倉時代に相良氏が再興したと伝わります。現在の拝殿は戦国時代に建立された本殿を、明治時代初めに拝殿に転用しています。（東光寺太鼓踊りの伝承）

⑦ 青蓮寺阿弥陀堂

多良木相良氏初代・相良頼景（よりかげ）供養の為に鎌倉時代創建された、県内最大で茅葺屋根の阿弥陀堂です。創建には飛騨の工匠が造作したと伝えられています。お堂には創建と同時に、京都の院派仏師法印院玄作の阿弥陀三尊像が安置されていて阿弥陀堂と共に国指定重要文化財です。

⑧ 古代の風　黒の蔵（埋蔵文化財等センター）

昭和17年建設の石倉、「黒肥地地域農業協同組合倉庫」を埋蔵文化財センターに改修。黒肥地大久保大地から出土した発掘品を中心に、歴史文化遺産を展示・公開しています。

⑨ 蓮花寺跡

球磨川畔に寺跡があり、中世の五輪塔や板碑が現存します。阿弥陀堂裏の基壇に建つ五輪塔群は県指定重要文化財で、その中に上蓮笠塔婆（かさとうば）があります。蓮花寺は嘉禎（かてい）２年(1236)相良頼氏（よりうじ）の建立で現在は廃寺です。